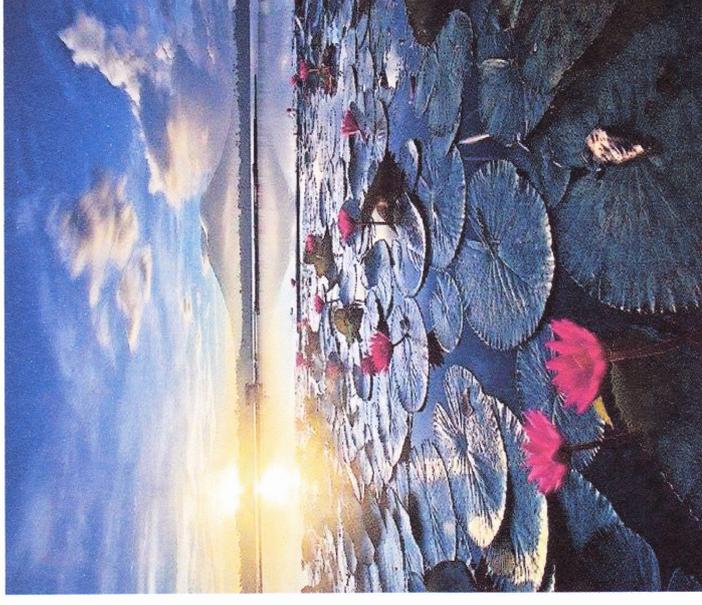


【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)



林鷲山
憶西院

超覚寺

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI
(since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

- ◎ 死別の分かちあいの集い(予約・参加費不要) : 14時~16時
- ・伴侶 : 毎月**第一土曜日** (7/5、8/2、9/6、10/4、11/1)
- ・自死 : 毎月**最終土曜日** (6/28、7/26、8/30、9/27、10/25)

遅刻も早退も構いません。辛い寂しいお気持ちを吐露してください。

超覚寺門徒でなくても参加できます。お知り合いにも是非ご案内ください。

- ◎ 浄土真宗基礎講座(兼 超覚寺女子会定例会) : 14時~15時
- 毎月**28日** (御開山 親鸞聖人の御命日) に開催しています。

6/27(6月は前の日に変更)、7/28(月)、8/28(木)、9/28(日)

予約も参加費も不要です。読経の練習や仏具のお磨き等、ゆるい感じで勉強しています。終わってからの茶飲み話も楽しいです。寺友になりませんか？

◇ 報告・連絡・“僧”談

① 2016年から8月11日が新しい祝日【山の日】になります。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを目的とした祝日。これまで祝日のない8月に初めての祝日となり、しかもお盆休みと続くので連休を取りやすくなります。まあ、学生やお寺の私には全く影響ありませんが…。

お寺にとつて8月は盆法要やお墓参りがあり、一年で一番忙しい時期です。そういう意味では、「山の日」というより「山場の日」ですね。元々お寺に定休日はありませんので、新しい祝日の恩恵は到底受けられそうにありません…。

② 4月9日 0時34分、三女の和田真愛子(わだまあこ)が生まれました。予定日が7日だったので、1日延びてお釈迦様と同じ誕生日になれと願っていましたが、35分ほど過ぎてしまいました。毎年この子の誕生日を迎える度に、「あと35分…」と悔しさが思い起こされるのでしょうか、笑い話になっていくのでしょうか。

発行人 : 超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*-*)人i~合掌

超覚寺 夏の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 原爆の日【70回忌法要】

8月6日（水） 8時00分～ 広島原爆死没者追弔会

8時15分 1分間黙禱

8月9日（土） 10時50分～ 長崎原爆死没者追弔会

11時02分 1分間黙禱

- ※ お寺にお参りできない方も、その日・その時間・その場にて、**黙禱**ください。
- ※ 8/6は広島市内の各宗派僧侶が平和公園の原爆供養塔（引き取り手のない御遺骨を納めている）の前で法要をします。18:30から15分毎に、臨済宗・浄土宗・真言宗・真宗大谷派・日蓮宗・曹洞宗の順繰りです。本願寺派は5日20時からお逮夜としてお勤めされます。他の宗派の読経を聴いてみたい方は是非どうぞお参りください。

◇ NHKドラマ「かたりべさん」

広島市の「被爆体験伝承者」養成事業に昨年から関わっております。数年前から、当時のことをご存知の御門徒の方々からお話を伺うことも増え、昔の本堂の写真も幾つか頂きました。さて、『原爆の恐さ、平和へのメッセージを今後広島からどう発信し続けていくのか？』をテーマにしたドラマが、8月上旬に放映されます。私もエキストラで参加しました。乞うご期待！

◇ 2014(平成26)年の御法事をご確認ください。

- ・2013(平成25)年： 1周忌 ・2012(平成24)年： 3回忌
- ・2008(平成20)年： 7回忌 ・2002(平成14)年： 13回忌
- ・1998(平成10)年： 17回忌 ・1990(平成2)年： 25回忌
- ・1982(昭和57)年： 33回忌 ・1965(昭和40)年： 50回忌

お勤めは、ご自宅でもお寺でも大丈夫です。御命日が近づいても連絡の無い場合には、この寺報にご案内を同封しています。念のため、境内通路脇の案内板に該当者名を掲示してありますので、墓参の際にご確認ください。

法事に掛かる時間は、読経から法話まで約30分です。複数の法事を続けてお勤めする場合は約15分ずつ時間が延びます。**小さいお子さまにも大切な御法縁**になりますから、ぜひ同席くださいますようお願いいたします。

お寺での法事は、ゆつくりお参りいただけるよう間隔に余裕を持たせて、開式時刻は**・10時・11時半・13時・14時半**にしております。予約状況によっては時刻の変更希望も可能です。

その他ご不明の点は、どうぞ何なりとご質問ください。

◇ 寺院護持費（墓地管理費）について

例年、原爆の日やお盆のお墓参りの際にお納め頂く方が多く、玄関が混雑してしまい申し訳ございません。遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

◎ 秋季彼岸会(永代経)法要 + 八丁堀寄席

9月23日（火・祝） 13時～ 勤行・法話（住職）

14時～ 休憩・茶菓タイム

14時半～ 落語（桂文麿師）

◇ 宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念講演会について

前号でご案内の通り、来る6月14日（土）に13:30～17:00の予定で、国際会議場フエニックスホール（平和記念公園内）にて開催されます。**無料聴講券**が少々残っておりますので、**ご希望の方はお早めにお申し込みください。**

◇ 超覚寺総門徒合同墓について

いよいよ建立工事が始まりました。先ず戦前からの無縁墓を解体するため、納められている遺骨を取り出しました。予想以上に御骨の量が多く、しかも納骨室だけでなく墓石の地下全体にも埋められていることが分かりました。昔の土葬された御骨は分解されず原形を留めているものも少なくありませんでした。掘り出した無縁墓の御骨は全て合同墓に再埋葬



いたしました。

7月下旬まで工事はかかる予定です。お墓参りにご不自由をおかけいたしますが、何とぞよろしく願っています。

今回の区画整地のため、和田様・福岡様・中村様には墓石の移設をお願いいたしました。快諾くださいました。この紙面に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

↑解体前の無縁墓

◇ 【夏休み子どもお泊り会】について

広島市内の真宗大谷派寺院が連帯して、小学生を対象にした合宿を企画しております。詳細は未定ですが、7月29・30日に様々なイベントを体験してもらおうと考えております。**関心のある方はどうぞご連絡ください。**

◎ 孟蘭盆会（戦争死没者追弔）法要

8月14～16日（木・金・土） 10時～10時半

- ※ **お盆・初盆のお参り**をご希望の方は、早めにご連絡ください。
- ※ 遠隔地の方のお墓参りの代行（**墓前読経**）も承ります。
- ※ お盆期間中、**2階本堂を開放**しております。どうぞ阿弥陀様にお参りください。
- ※ 安芸門徒の伝統供物【**盆燈籠**】をお供えできますが、超覚寺では墓参礼・墓花・御線香のみ販売しておりますので、**盆燈籠は他所でご購入**ください。
- ※ 境内の駐車場は7台まで入ります。
- ※ 8/18に業者さんが墓地を清掃致します。

☆ 【お盆】について

お盆は「孟蘭盆（うらぼん）」といい、梵語の“ウランバナ”を音写したもので、「倒懸（とうげん）：木に逆さに吊るされたような苦しみ）」と訳します。

お盆の行事は、『仏説孟蘭盆経』というお経に説かれている、釈尊のお弟子・目連尊者（もくれんそんじや）の物語に由来するものです。神通第一と呼ばれた目連尊者は、亡き母を案じ、神通力によって母の姿を探し求めます。すると、母は餓鬼の世界に落ち、苦しんでいました。目連尊者は悲しみの中、何とか母を助けたいという思いで、食物を母のもとへ運びます。しかし、母のもとでは全てが炎に変わってしまうのです。どうすることもできない目連尊者は釈尊のもとを訪ね、「安居（あんご：修学期間）の最後の日に三世の諸仏方に百味の飲食（ひやくみのおんじき）をお供えなさいと教えられます。そして、そのことを実践し、その功德によって、母は餓鬼道から救われたという経説がもたっています。

私たち真宗門徒は、このような由来のあるお盆という行事を、亡き人を通して仏法聴聞のご縁を頂く大切な時としてきました。（東本願寺施本より加筆転載）

◇ “寺”後報告 3月21日 春季彼岸会法要

今回は42名がお参りくださいました。13時から皆さんと「阿弥陀経」と「正信偈」をお勤めし、続いて私が節談説教『西行法師出家の因縁話』を披露しました。本格的に勉強を始めてから3ヶ月、高座に上がったのお説教はもちろん生まれて初めてのことで、そんな拙い節談説教でも真剣にお聞きいただき嬉しかったです。

その後休憩に入り、おぜんざい召し上がっていただきました。そして、祖父江佳乃先生の節談説教『今を生きる』と『親鸞聖人御一代記より出家得度の段』を拝聴いただきました。やはり第一人者、お聴聞の御門徒方、皆感激されていました。



昨年から、御懇志の揭示は氏名だけにして、金額は書かないことにしました。法座での御布施は寄付金ではなく御志なので、金額を明記する必要はないからです。その代わり、御布施の総額を寺報上で報告いたします。今回の総額は、269,000円でした。他にも、お菓子をお供えいただいた方々もいらっしゃいました。ありがとうございました。

☆ 【 仏教の戦争観 】 (愛知県豊田市 守綱寺寺報より抄出加筆) 人皆心有り。我必ず聖に非ず。彼必ず愚かに非ず。共に加夫ならんのみ。(十七条憲法より抄出)

去る5/15、安倍首相は記者会見し、他国のために自衛隊の武力を使う集団的自衛権の行使に向けて踏み出そうとする構想を発表した。それも【積極的平和主義】という旗印のもとに。首相は会見で「国民の命を守る」という言葉を21回使用した。「自分が命を守る」というが、実は「自分の命を懸ける」わけではない。また、アフガンで30年農水路の建設などを支援しているNGO団体の中村代表は、「武力を使う日本に対する敵意が、アフガン人の間に生まれてしまうと危惧する。現地の人たちは、日本が平和憲法を持ち現地での戦闘に直接関わってこなかったことを理解している」とのこと。

「攻められたらどうするか」という意見もある。しかし、9・11のニューヨーク爆破テロを考えれば、圧倒的な軍事力を持っていてもリスクは無くならないのが分かる。そのアメリカの経験に学んで、リスクを力で抑え込むとは別の方法で安全保障を考えなくてはならない。例えば、靖国参拝で緊張関係を深めるような参拝は止めて、アジアの中で信頼関係を粘り強く作っていかねばならない。平和とは、相手があつて、自分流のやり方で、そして相手に自分の言う通りにさせて仲良くしたいと思つていては、相手は決してドアを開けない。

首相の靖国参拝が、なぜ中・韓から抗議され、欧・米からも失望したと言われるのか。それは、東京裁判でA級戦犯と判決を受け戦争責任を問われ死刑に服した人を、後に英霊として靖国神社が祀ったから。敗戦国が国際社会に復帰するために侵略の責任を取らせた人(戦犯)に、その国の責任者である首相が参拝すれば、侵略された国・国民には「何も反省していない行動だ」と映る。日本もドイツに倣い、過去の教訓に真摯に向き合わねばならない。過去の行為を検証し反省し懺悔することは、決して「自虐史観」などではない。

慰安婦問題にしても同様。確かに、世界中どの国でも慰安婦問題はあつただろうし、戦争すればそれはついてまわるものだろう。しかし、「日本だけが問題視されるのは心外だ」ということを公の立場の者が発言するなんて、これではまるで小学生が「僕だけではないよ、A君もB君も皆やっているよ」と弁解したのと同じレベルである。他人ウンスンは関係なく、自分がどうなのかが肝要である。